

# 高木恭造氏 「陽コあだネ村」詩碑完成



カムカムはっぴい

秋号

発行元  
㈱番地銘石  
青森市堤町 1-3-16  
フリーダイヤル  
0120-75-1483

九月、今別町婁月海岸沿いにある婁月会館に高木恭造氏の詩碑を建立しました。  
高木氏は大正十一年に代用教員として婁月尋常高等小学校で教鞭をとっておりました。その学校が現在の婁月会館で、地域の方々の交流の場として使用されています。

まだ雪が残っていた四月初め、建立場所の婁月会館を確認しに行きました。どんよりとした曇り空で風が強かったせいもあり、目の前の海がザア・ザアと泣いているようで、高木氏がこの地について詠った「陽コあだネ村」津軽半島婁月村で「そのものでした。」

除幕予定の九月を目途に、本体・場所全体・彫刻文字のデザインを決め、お盆明けから工事に入りました。詩碑本体は幅二・一m、高さ一・五m、重さ四tと重量級だったのでラフタークレーンで吊り上げて設置しました。詩碑前面には「陽コあだネ村」の一文を彫刻し、高木氏がまるめろを持ったブロンズ彫刻板がはめ込んであります。このブロンズ彫刻板は弘前市の

彫刻家・村上文憲氏によるものです。



去る、九月二十日に除幕式を迎えました。その日は四月に訪れた時と打って変って晴天。何事だべ？と集っていたおばあちゃん方と話をした時に「陽コあだんねえごとねえんだよ」と言われてしまいました(笑)そのくらい天気が良い日でした。

この詩碑はこれまでの高木恭造氏の記念碑の中で唯一、本人の声を聞くことができます。ボタンを押すと高木氏本人の朗読が流れます。除幕式では甥の高木保氏がボタンを押し、朗読を皆で聞き、無事に除幕式を終えることができました。

平成二十七年に北海道新幹線開業を控えている今別町。この詩碑が観光地の一つとなり、町を盛り上げてくれれば

と思います。機会がありましたら、足を運んでいただき、ポチッとボタンを押してみてください。高木氏の独特な世界観に触れられる場所となっております。

## お墓の雪囲い

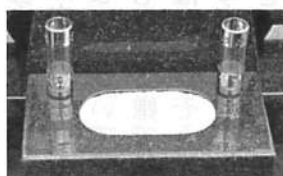
今年もお墓の雪囲いの季節がやって参りました。雪囲い取り付けは次の手順で行います。

- ①墓石の拭き掃除をします。
- ②ビニールをかぶせ、ロープで縛り、雪囲い完了。



春先、雪解けの状態を見ながら雪囲いを外す作業に入ります。

- ①ロープとビニールを外し、墓石の拭き掃除



をします。  
②お線香立ての砂を取替えて完了。

雪が降る前にお墓参りをしたいので遅めに取り付け、又は春彼岸にお墓参りをしたいので早めに取り外してほしいという方は、ご相談に応じますので、ご遠慮なくお申し付けくださいませ。

取付は12月20日頃まで、取り外しは雪解けの状態にもよりますが、遅くともGW前までにはお申し込みくださいませ。

同封しました「お墓のお手入れ」に金額等、説明しておりますのでご覧になってみてくださいませ。以前やっておりました、松竹梅のコースが無くなりましたので、お間違いないならないようお願い致します。

**お申込みの締め切りが11月20日まで**になっておりますので、お早めにお申し込みくださいませ。  
☆お申込みはこちらまで☆  
フリーダイヤル  
0120-0175-11483

FAX  
0177-72315756

お名前、ご連絡先、墓地の場所(青森市営霊園の場合は区画番号)をお知らせくださいませ。

ペット 供養公園  
つきかけの郷

夏号で紹介しました当社の月見野工場敷地内に完成しましたペット供養公園が本格的にオープンです。

♪たくさんの石碑文字のご応募ありがとうございます♪  
ご応募の中から選ばせていただきましたのは、

「特別な時間をありがとう」です。一緒に過ごした時はお互いにとって、かけがえのないものだと思えます。どんなときもそばにいてくれたペットに感謝と安らかに眠ってほしいという願いを込めてご供養させていただきます。



受付期間ですが、年内は雪が積もる前までは納骨いたし

ます。雪が積もつてからは春の雪解け後に納骨いたします。詳しくは同封したパンフレットをご覧くださいませ。

お墓参りを考える

今年はお墓についての講演をして欲しいとお話が三件あり、テーマは、いずれも「なんでお墓を建てるのか」でした。

お墓の歴史や仏教各宗派の本山の様子と言ったちよつと硬い話のほかに、あの人と一緒にのお墓はいやという話題もありました。

私がお墓相談の時は簡単でもよいので家系図を書くようにしています。自分の今の悩みは、ちよつと家系図をみれば、ご先祖も体験していることが良くあります。何代か前に、そつくりな境遇の先祖がいるのです。科学技術は進歩していますが、人間心理は古代ギリシャ時代や縄文時代の人たちからそれほど進歩していないのではないでしょう

か。「今の若い者は」のセリフは何千年も前から言われていることです。親がやっていることを子供がみています。例えばお墓詣りは、子供が小

さいころから連れられていくうちに、何となくお父さんやお母さんがお墓詣りして気持ちいい顔になったなと思つていけば、その子はやがて自分でも同じことを行います。そして、今の自分があるのは、自分の努力はもちろんですが、親や先祖のお蔭かなという気持ちでどこかに蓄えられていくのです。(番地 常夫)

スタッフじゅりこのほのぼの育児日誌

娘が二才になりました。毎日、何回言つたか数えきれないくらい、アンパンマンとアンピーマン(ばいきんまんのつもり)と言っています。

アンパンマンが大好きなので、人形・おもちゃ・食器など揃えたのはいいんですが、まだ話せる単語が少ないので、本人もアンパンマンとしか伝えられず、どのアンパンマンのことを言っているのか解らないこともしばしばです(笑)

息子は歯医者での治療の際、何か所か麻酔が必要な虫歯が見つかりました。息



子を盛り上げてみたものの、『何もせずに帰宅』が二度ありました。しょうがないですよ、大人でも注射は嫌ですもの。三度目はかわいそうでしたが私が息子のの上に乗る、押さえて麻酔を施行。痛みを感じなくなつたので足を組んで余裕かまして治療を受けました(笑)

あとから息子に「麻酔より力(私の呼び名)に乗られて重くて痛かつたから、もう押さえないで」と言われました(涙) 約束通り、その次は押さえなかつたら嫌がらずに麻酔してました。

さて、これから二人にはインフルエンザの予防接種が待っています。ふつふつと予防接種が何かを理解して怯える息子と何をしに行くかわからないまま注射とご対面の娘。どんな反応するかな(ニヤリ)

皆様も早めの予防で気を付けてくださいませ☆

編集後記

文字デザインで奮闘した今別町の詩碑。私にとって思い入れのある記念碑になりました。(じゅりこ)